

6 山 形 県 山形県音楽教育連盟（県音連）

○ 研究の主題および重点

研 究 主 題 「つなぎ合おう 人・思い・音楽」

研究の重点

一つの音と他の音をつなぐことで音楽は生まれる。古来、世界各地で独自の方法で音と音とがつなぎ合わされ、数多くの素朴な音楽が作られた。それらの音楽は、人と人とのつながりの中で交わり合い、影響し合いながら発展してきた。そして今日、音楽は人種を越え、言葉を越え、互いの立場を越えて、人々の思いをつなぐ力を持ち得ている。

このようなことから、音楽活動をする喜びや音楽から得られる感動は、仲間と共に行う音楽活動の場や仲間同士の共感の中でこそ、より大きくなるものと言える。自分の思いや意図を持って表現した音楽を互いに受け止め合い、良さを認め合えるよう児童生徒同士をつなぐこと、認め合いを通じて「もっと表現したい」「もっと聴きたい」という思いにつなげること、さらにその思いをより良い音楽活動につなげることで、こうしたことによって、音楽教育の目標である「豊かな情操を養う」ことに迫ることができる。また、児童生徒にふるさとの伝統音楽や世界の音楽など様々な音楽文化を体験させることで、自文化への愛着を育んだり異文化を尊重する心を持たせたりすることも大切にしていきたい。それは、他者を理解しようとする気持ちや他者への思いやりの心を育てることにもつながっていくものである。

以上のようなことから昨年度までのテーマ「いっしょに音楽 もっと音楽 ずっと音楽」を受け継ぎつつ、人と人との関わり（横のつながり）を更に広げ深めることを目指していきたい。

今年度は、まず、音楽科授業の研究の視点を「つながり」と捉え、実践を紹介しあう県内四地区の協議会を通して全県での共有化を図っていくとともに4年後の東北音楽教育研究大会山形大会を見据え本県の音楽教育の向上に努めていく。